

平成31年4月17日

學

伴東小学校 校長室だより

【伴東プライド】を中核に、
「やる気いっぱい 笑顔いっぱい」の学校



暖かな春の訪れと同時に平成31年度が始まりました。9日(火)には就任式・始業式を行い、新たな先生方と転入生を迎えました。また、10日(水)の入学式では新1年生82名が伴東小学校の仲間となり、全校児童419名・教職員41名で新年度のスタートとなりました。

昨年度に引き続き、「確かで深い学び」と「規範性豊かな言動」を積み重ねながら、児童一人一人が健やかにバランスよく成長していくことを目標に、教職員一丸となって日々の教育活動を展開してまいります。保護者・地域の皆様方には、これまで同様本校学校教育活動にご支援とご協力を心よりお願いいたします。

話は変わりますが、4月1日に新しい元号が発表されました。「令和」と決まり5月1日から新たな時代の幕開けとなります。一つの時代の節目を迎え、次の時代に歩みを進める私たちにとって、記憶に残る一年になるように思われます。この記念すべき平成31年(令和元年)が素晴らしい年になることを願っています。



今年度は82名の入学で1年生も3学級となりました！ 全校児童も5年ぶりに400名を超え、419名での出発！

10日(水)、本校第37回入学式を体育館で挙行了いたしました。小雨がぱらつくあいにくの空模様のため受付場所を中央通路に変更いたしました。新1年生のみなさんは受付で6年生のお兄さんお姉さんと一緒に、それぞれの教室へ移動しました。名札や胸花をつけてもらい自分の席に座り、少レドキドキしながら入学式の始まりを待ちました。6年生と手をつないで式場へ入場する82名の新1年生のみなさんは、緊張の中にもこれから始まる小学校での新しい生活を楽しみにしているような表情でした。これからの6年間、伴東小学校でいろいろな学びと経験を積み重ね、たくさんの楽しい思い出をつくり、心も体もしっかりと成長させてほしいと願っています。

80名を超える入学は久しぶりで、1年生は3学級でのスタートとなりました。

また、児童数の減少で平成27年度以降は400人を切っていた全校児童数も5年ぶりに復活し、419名の在籍となりました。学校だよりでもお伝えしましたように、本年度は1・2・4年生が3学級展開となりました。少子高齢化が進み将来を担う子どもたちが減っていることは大きな社会問題となっていますが、そうした中で児童数が増えたことは明るいニュースといえます。(続きますように・・・)



在校生と対面の1年生

新しい時代の、新たな教育の始動に向けて準備を進めます。 今年度は「英語教育研究校」の指定を受けて取り組みます！

平成32年度から新学習指導要領全面実施を受け、3年生・4年生での外国語活動や特別な教科「道徳」など、昨年度からの移行期間に先行実施を含めて取り組まれています。先行実施の外国語活動では、3・4年生に15時間割り当てられていましたが、本年度も15時間、そして令和2年度から35時間の扱いとなりました。本年度は教育委員会から「英語教育研究校」の指定を受けました。具体的には伴中学校区で指定を受け、5・6年生の外国語(英語)には伴小学校から英語専任の先生が来られます。また、3・4年生の外国語活動には同じように非常勤講師の英語専任の先生が指導されます。3・4年生で外国語活動に触れ、5・6年生では伴東小・伴小の両方を指導される先生と外国語を学び、中学校の英語に接続してもらおうという形となります。「生きて使える英語」の習得に繋がるよう、また研究校の最終目標である「英語を使って平和を語れる子どもの育成」となるよう進めてまいりたいと思います。併せて、昨年度は広島市の教育施策の一つである「平成30年度 個に応じた指導研究校」の指定を受け、中学年(3・4年生)の算数科の指導に専任の指導担当を配置し、子どもたちの学力のボトムアップを図ってきました。本年度は指定がなくなりましたが、引き続き専任の指導担当を配置し、学級担任との複数で指導に当たります。

新たな教育の始動に向けて準備を進めてまいります。これまで同様に、学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

本年度も【伴東プライド】を学校経営の中核に据えて取り組みます！ 保護者・地域の皆さまのご支援とご協力を引き続きよろしくお願いいたします！

「広島でNo.1の学校にしよう！」を合言葉に、【伴東プライド】の取り組みも6年目となりました。本年度も学校経営の中核に据え、引き続き日々の教育活動を進めて参ります。

【伴東プライド】の内容は伴東学区社会福祉協議会が定められた『伴東学区社会福祉協議会 憲章』を参考に、子どもたちに是非実践してほしいことを挙げました。3つの事項は子どもたちだけでなく、まずは私たち大人が模範を示さなければならない内容でもあります。子どもたちの思考・判断や言動がさらに望ましい状況になるためには、保護者・地域の皆さまのご支援とご協力が何よりも必要です。多面にわたるご支援ご協力を、引き続きよろしくお願いいたします！

日頃の子どもの様子で、「心温まるような場面」や「改善しなければならない場面」等を目にされましたら、学校や担任にお知らせください。

◎保護者の皆さんへお願い

- ①子どもさんの言動に「ありがとう」の言葉を添えてください。
- ②子どもさんのよい言動はしっかり褒めてあげてください。
- ③子どもさんに【伴東プライド】の手本の見せてあげてください。

※「いじわる・いたずら・いやがらせ」はいじめになることを話してください。



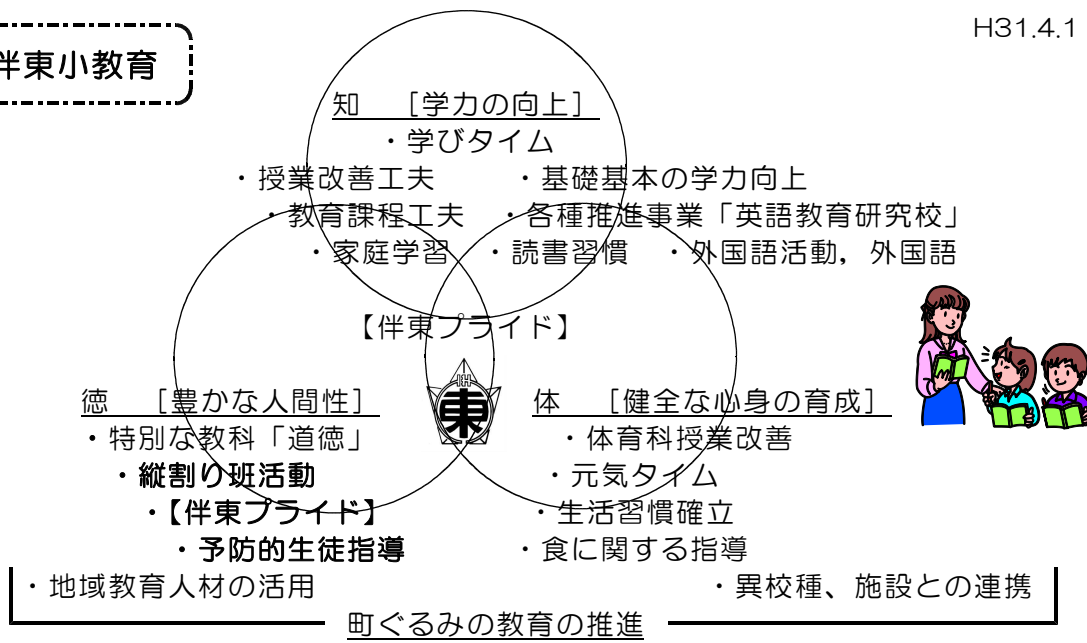
私は「人としての美しさを求め学びます」

「伴東プライド」
人を大切にします
正しい行いをします
自慢できる伴東にします



伴東小教育

H31.4.1



平成31年度 学校経営方針

1. [学校目標]
「進んでものごとに取り組み、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」

2. [目指す子ども像]
・(知) 人の話をよく聴き、自分の考えや思いを伝えることのできる子
・(徳) 親切で思いやりのある子
・(体) 健康な心と体づくりに努める子

[目指す学校像]
・子どもが自分の力を最大限発揮でき、自己存在感をもつことができる学校
・教職員同士が、信頼と協調に支えられて明るく連帯感のある学校
・整備された教育環境のもとで、保護者・地域と共に育てる開かれた学校

3. 経営の方針

[学力の向上]基礎基本の学力定着向上と、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

- ① 朝の始業時間や帯時間等の活用・・・朝の読書タイム,音読タイム,元気タイム
午前の始業前15分の学びタイム
- ② 合同授業や交換授業, T・T, 出前授業等, 授業形態の工夫
・・・職員の得意を生かすきめ細やかな指導
分かりやすく楽しい授業づくり(授業改善)
- ③ 教育課程の工夫・・・帯時間年間指導計画の立案・実施
新学習指導要領に基づいた学習指導
新学習指導要領を見据えた教科指導
特別な教科「道徳」, 外国語活動 外国語

- ④ 研究をいとわない教職員集団・・・学力向上推進「英語教育研究校」指定
・「個に応じた指導(指導工夫)」
・小・中連携教育推進

研究テーマ:「思考力・表現力を高める授業の創造」(3年次)
～算数科における 学び合いの指導 を通して～

[豊かな人間性]規範意識や自己肯定感を基盤に、共感的人間関係を育成する。

- ① 「特別な教科 道徳」の推進
・他教科や行事と関わらせた道徳の授業を行ったり、道徳で学んだことを日常の中で振り返ったりする活動を多く取り入れ、自己肯定感を養い、規範意識を育てる。
- ② 【伴東プライド】の取組を推進し、道徳心と生活力の向上を図る。
・月別生活目標への位置づけ
・教職員自らの実践
・学年・学級の工夫した実践
・児童会行事・活動と連動させて実践
- ③ 「予防的生徒指導のプログラム」を通して、豊かな人間関係づくり、楽しい学校・学級づくりを推進していく。
・ライフスキル教育
・ペアやグループによる協同学習とコミュニケーション活動
・異年令集団におけるピア・サポート的交流活動(縦割り班活動)
・ふれあい相談窓口・コンサルテーション会議の充実 等

【伴東プライド】
一. 人を大切にします
一. 正しい行いをします
一. 自慢できる伴東にします
私は「人としての美しさを
求め、学びます」
tomohigashi-pride

[健全な心身の育成]すすんで、体力づくり・健康づくりに努める子どもを育てる。

◎運動の好きな子どもを育てるために

- ① 体育の授業改善
・授業に、柔軟運動・体ほぐし・縄跳びなどの運動を導入
・学習の場づくりを工夫し、運動量や活動時間を増やす。等
- ② 朝の始業時間に元気タイム
・全校運動で運動の楽しさを知らせるとともに、新体力テスト等の課題を克服

◎健康づくりに努める子どもに

- ① 家庭と連携して、基本的な生活習慣を確立する。
・「スマイルウィーク」を中心とした取組
・「スマホ・携帯電話」に係る取組(小中連携推進)
- ② 「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。
・食育授業や給食指導の推進
・学校栄養職員等学校担当制(伴小の栄養士と本校食育担当者)



[町ぐるみの教育の推進]地域と共に歩む、開かれた学校をつくる。

- ① 地域の人材を活かして・・・読み聞かせ(あのねの会)伴東社協 老人会
ともひがしくらぶ(コミュニティ)
- ② 異校種との連携・・・アソカこども園との幼・保・小連携
小(6)中(3)高(3)大(4)の連携:『十六の会』
- ③ 町の文化施設等との連携・・・沼田公民館, 福祉施設しんあい, 交通科学館
広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センター

